

【資料】

平成29年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議育種分科会 および北海道育種基本区特定母樹等普及促進会議

佐々木 洋一¹

「平成29年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議育種分科会」および「平成29年度北海道育種基本区特定母樹等普及促進会議」は、9月27日に札幌市内の公設会議施設「かでの2・7」において開催された。会議には、林野庁、北海道森林管理局、北海道庁、北海道立総合研究機構林業試験場、同林産試験場、森林研究・整備機構森林総合研究所北海道支所等の関係機関が参加して行われた。会議の概要は次のとおりである。

育種分科会

林木育種を巡る最近の情勢について

林野庁より林木育種に関する情報提供として、優良種苗低コスト生産推進事業等の平成30年度概算要求についての説明があった。

林木育種推進計画の策定等について

森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発戦略（平成29年3月31日付け28林整研第310号）の策定を受け、育種分科会の運営規約の修正が承認されるとともに、向こう5年間にわたる林木育種推進に関する基本的事項をまとめた、新たな北海道育種基本区林木育種推進計画が決定された。

特定母樹等普及促進会議

特定母樹の増殖等について

林野庁より特定母樹の増殖等について、特定母樹の指定状況、特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針の策定状況、民間事業者の参入促進に向けた攻めの基本方針づくり等について説明があった。

林木育種推進計画の策定について

北海道育種場より平成29年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議育種分科会で策定された新たな北海道育種基本区林木育種推進計画について、内容が紹介された。

特定増殖事業について

北海道育種場より北海道育種基本区における特定母樹増殖事業の取組状況について説明があった。また、北海道庁からはクリーンラーチ増産推進事業について説明があった。

特定母樹及びエリートツリーの開発について

北海道育種場より第2世代精英樹候補木と優良木の選抜状況と今後の取組について説明があった。

平成28年度林木育種事業実施結果及び平成29年度計画

北海道育種場からは林木育種事業の概要として、採種園の造成・廃止及び管理、次代検定林調査、育種種子の生産と利用状況等について、それぞれ平成28年度実績と平成29年度計画の報告があった。また、平成29年度春期の国有林採種園及び道有林採種園の着花（果）状況について報告があった。

林木育種事業・研究の概要と成果トピックス

北海道育種場から、森林研究・整備機構の第四期中長期計画に沿って、平成29年度に取り組む研究の重点課題「林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化」や「長期的な基盤情報の収集、保存、評価並びに種苗の生産及び配布」等の業務について説明があった。また、北海道育種場からは成果トピックスとして、「カラマツ第2世代精英樹候補木の選抜」及び「次代検定林の成績によるトドマツ精英樹集団からの優良系統

¹ ささき よういち 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター北海道育種場

の選抜」について、また道総研林業試験場からは研究概要として「カラマツ種苗の安定供給のための技術開発」、「苗木需要量の増加に対応したコンテナ苗生産・植栽システムの開発」、「クリーンラーチ若齢採種園の成長と着花に及ぼす施肥の効果検証」等について、それぞれ紹介があった。

提案・要望事項

北海道庁、北海道山林種苗協同組合、特定増殖事業者から事前に提出された提案・要望事項について林野庁や育種場等と意見交換が行われた。内容は次のとおり。

北海道の主要な造林樹種であるカラマツ・トドマツ・アカエゾマツの特定母樹の開発の推進、採種園造成のニーズに対応した原種の安定供給の確保、道有採種園整備に対する支援、特定増殖事業者等への接ぎ木技術の指導、着花促進への情報提供・技術指導の要望、等。

情報提供・その他

北海道育種場からは、平成29年9月7日～8日に開催された第55回北海道林木育種現地研究会の概要について報告があった。